

# お出かけしてみませんか？

## 県内のおすすめスポット

まだまだ寒い日が続きますね。今回は屋内で楽しめる施設や、早春を感じられるスポットを取り上げてみました。  
春休みの時期は混雑も予想されますので、  
時間に余裕を持ってお出かけくださいね。

### 新江ノ島水族館(愛称:えのすい)

<http://www.enosui.com/>

海洋生物の宝庫「相模湾と太平洋」と生物を、遊びながら学ぶことができる<エデュテインメント型の水族館>です。約60年の研究と展示の集大成「クラゲファンタジーホール」、海に面したイルカショースタジアムでのイルカやアシカのパフォーマンスが見所です。江の島までは徒歩15分ですので、天気によければ足を伸ばすのもいいですね。



|       |                                                                    |     |              |
|-------|--------------------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 住 所   | 神奈川県藤沢市片瀬海岸2-19-1                                                  | TEL | 0466-29-9960 |
| 交通案内  | 小田急江ノ島線「片瀬江ノ島駅」徒歩3分／江ノ島電鉄「江ノ島駅」徒歩10分<br>湘南モノレール「湘南江の島駅」徒歩10分       |     |              |
| 営業時間  | 2月28日(土)までは10:00～17:00(最終入場16:00)、<br>3月～11月は9:00～17:00(最終入場16:00) |     |              |
| 入 場 料 | 大人2,100円／高校生1,500円／中学生・小学生1,000円<br>幼児(3歳以上)600円                   |     |              |

※2015年3月31日(火)まで「小田急線に乗って“えのすい”へ行こう」キャンペーン中  
※2015年3月31日(火)まで高校生～大学院生対象「えのすい学割」キャンペーン中



### 第13回 三浦海岸桜まつり

<http://www.miura-info.ne.jp/sakuramaturi.html>

三浦半島では、三浦海岸駅から小松ヶ池公園にかけて一足早い「桜まつり」が開催されます。品種は早咲きで知られる河津桜、花が大きく濃いピンクなのが特徴です。「三浦海岸桜まつり」期間中、三浦海岸駅前のテント村(売店)では、地元特産品、桜おこし、大根焼酎や桜まつり限定の桜どらやき等が販売されます。アクセスしやすいので、思い立ったらすぐに出かけられますね。



|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| <b>期 間</b>    | 2015年2月14日(土)～3月15日(日)   |
| <b>会 場</b>    | 小松ヶ池公園(神奈川県三浦市南浦町上宮田)    |
| <b>アクセス</b>   | 京浜急行久里浜線「三浦海岸駅」下車、徒歩約10分 |
| <b>問い合わせ先</b> | 三浦市観光協会 TEL 046-888-0588 |

### 発行者：特定非営利活動法人 かながわ避難者と共にあゆむ会

【活動拠点】〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター  
Tel：045-312-1121(内線4142)【受付時間：午後1時～5時(日・祝日を除く)】 Fax：045-312-1862  
【連絡先】〒231-0011 横浜市中区太田町4-47 コーワ太田ビル7F「かながわ避難者と共にあゆむ会」宛  
メール：info@hinansha-shien.net ホームページ：http://hinansha-shien.net/  
【協 力】神奈川県、かながわ避難者支援会議  
広報誌『ともにあゆむ』発行は、かながわボランティア活動推進基金21  
協働事業負担金対象事業です。



### 京急油壺マリンパーク

<http://www.aburatsubo.co.jp/>

三浦半島にある、楽しさがギュッと詰まった海のレジャーランド・水族館です。園内ではエリアごとにいろんな生き物や珍しい展示をみることができます。大型のサメを常設する「魚の国」、全天候対応型の屋内大海洋劇場ファンタジウム、三浦半島の自然が詰まった「みうら自然館」、三崎マグロを味わえる「三崎マグロのレストラン Log Terrace」などなど、楽しさいっぱいです。



|              |                                                     |            |              |
|--------------|-----------------------------------------------------|------------|--------------|
| <b>住 所</b>   | 神奈川県三浦市三崎町小網代1082                                   | <b>TEL</b> | 046-880-0152 |
| <b>交通案内</b>  | 京浜急行久里浜線「三崎口駅」1番のりば「油壺」行きバスに<br>乗車して終点「油壺バス停」より徒歩5分 |            |              |
| <b>営業時間</b>  | 9:00～17:00(冬季平日は9:30～16:30)<br>※詳しくはお問い合わせください      |            |              |
| <b>入 園 料</b> | 大人(高校生以上)1,700円／中学生1,300円／小学生950円<br>幼児(3歳以上)450円   |            |              |

### 湯河原町「梅の宴」と「椿ライン」

<http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/kankou/event/ume-top.html>

神奈川県西部に位置する湯河原町は、温泉はもちろん、雄大な景観でも知られます。約4千本の紅梅・白梅が咲く幕山公園では「梅の宴」と題してイベントが開催され、夜間はライトアップも行われます。期間中は毎日、臨時直通バスも運行されます。また、お車でしたら、湯河原と箱根を結ぶドライブコース「椿ライン」(湯河原町宮上)もお勧めです。両側6kmにわたり約5,000本のツバキが植栽されており、2月下旬～4月上旬にかけて麓から山頂まで徐々に見頃を迎えます。



|                |                                                                                                |            |                             |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------------|
| <b>期 間</b>     | 2015年2月7日(土)～3月15日(日) 9:00～16:00、<br>ライトアップは2月28日(土)～3月8日(日) 18:00～20:30                       |            |                             |
| <b>住所・アクセス</b> | 《幕山公園》神奈川県足柄下郡湯河原町鍛冶屋923<br>JR東海道本線「湯河原駅」から臨時直通バスで終点「幕山公園」下車<br>《つばきライン》神奈川県足柄下郡湯河原町宮上地内、県道75号 |            |                             |
| <b>入 場 料</b>   | 《梅の宴》200円(15歳以上中学生は除く)                                                                         | <b>駐車場</b> | 普通車：1回500円<br>大型バス：1回2,000円 |
| <b>問い合わせ先</b>  | 湯河原町観光課 TEL 0465-63-2111                                                                       |            |                             |

#### ■活動支援金のお願い

私たちの活動をサポートしてくださる方からの活動支援金(1口1,000円)を受け付けております。ぜひ、ご協力ください。  
[ゆうちょ銀行]  
振替口座 00250-7-101771  
加入者名:かながわ避難者と共にあゆむ会

# ともにあゆむ



避難されている方々同士が  
つながり、語り合い、  
共にあゆむことを目指して。

2015  
第5号  
2-3月



復興支援員さんのご紹介(浪江町)

神奈川県で活動する団体のご紹介

2～3月の交流ひろば

「第6回ふるさとコミュニティinかながわ」出演者紹介

活動報告



# 復興支援員さんのご紹介



## 第2回：浪江町

こんにちは。浪江町復興支援員（神奈川県駐在）の佐々木、山田、鈴木です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

浪江町では、「どこに住んでいても浪江町民」という合言葉のもと、全国の浪江町民の想いに寄り添ったサポート活動を行っています。その1つとして、2014年5月から神奈川県藤沢市に私たち浪江町復興支援員が配備され、神奈川県、山梨県と東京の一部にいらっしゃる浪江町民を対象にサポートしております。

現在の主な活動は、戸別訪問や交流会への参加です。皆様とお会いし、不安や悩み、浪江町への想いを話していただくことで、浪江町民一人ひとりと向き合い、一人ひとりが描く復興の実現を支援しています。不安や悩みだけでなく、神奈川県での生活で楽しみにしていることなど、お話しいただくこともあります。「久しぶりに浪江の話が分かる人と話せた」と、元気な笑顔を頂いております。

これからも町民同士、町民と町役場、町民と神奈川の方をつなぎながら、元気な笑顔を増やしていきたいと思ひます。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



### 佐々木 靖典さん【青森県出身】

「待っていてくれる。つらいのに笑顔で迎えてくれる」いつもそう思いながら、訪問のための電話をかけています。

私たちが浪江町の馬場町長から「絆づくり」の辞令を頂いてもうすぐ1年ですが、避難者の方々にはもうすぐ4年の月日が過ぎようとしている、つらい長い旅の途中です。訪問してお話をお聴きすると、時の流れは涙となり、また笑顔にもなって、語りかけてくれます。涙、笑顔…想いを大切にしながら、あゆむ会の皆様とも協力して活動していきたいと思ひています。



### 山田 邦大さん【浪江町権現堂出身】

就職後は神奈川県に住みましたが、長期休暇には浪江町に帰省し、姪と高瀬の丈六公園へ遊びに行くのが楽しみでした。今では帰省先は福島県の仮設住宅になりましたが、両親の元に帰省します。震災直後に私が母へ送ったメールに、「親がいる場所が故郷」という言葉があります。何気ない一言でしたが、環境は変わっても私の根源は変わらないのだと思ひます。一人ひとりが向かう先は異なるかもしれないけれど、浪江町に縁があった者同士、想いを共有しつつ前に進みたいと思ひます。



### 鈴木 恵輔さん【浪江町権現堂出身】

現在、神奈川県では462名、300世帯弱の浪江町民の方々が避難生活を送っています。皆様の悩みはさまざまですが、訪問活動を行う中で「将来のことが見えなくて不安だ」「近くに親しい知人がいない」「浪江の方言が懐かしい」などの声が多く聞かれました。避難者の皆様が、少しでも多く親しい知人ができ、浪江の方言で悩みごとを相談しあえるようにと思ひ、活動しています。今後とも、訪問や交流会などで皆様にお会いする機会には、よろしくお願いします。



#### 【お問い合わせ】浪江町復興支援員（神奈川県駐在）

〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢577寿ビル301  
【電話】080-6295-1499  
【メール】sien\_kanagawa@yahoo.co.jp  
【受付時間】月／水／木／金 午前9時～午後5時

## 神奈川県での活動のご紹介

### 福島原発かながわ訴訟原告団の活動について

#### 福島原発かながわ訴訟原告団 副団長 岩淵 馨

福島原発事故から3年9カ月が経過しましたが、いまだに故郷の環境が回復するめども立たず、放射能の健康への影響についての正確な情報も与えられず、故郷に通じる長いトンネルはいまだに深い暗闇が支配しております。故郷を奪われた私たちの心は、時の経過に伴い安らぎを取り戻すどころか、逆に時の経過と共にどんどん傷口が大きくなっています。

このような心身ともに行き場がなく、生活の糧もなく、未来に対する希望もない、いかんともしがたい状況に対するやむにやまれぬ思いから、当原発事故の責任の所在を明らかにし、人間らしい生活を取り戻すため、国と東京電力に対して損害賠償を求める訴えを起こしました。2013年9月の第1次提訴から2014年12月の第4次提訴まで61家族174名がこの訴訟に加わっており、福島原発かながわ訴訟弁護団、支援の会「ふくかな」と共に頑張っております。

第1回の口頭弁論からまもなく1年を迎えるにあたり、提訴行動、口頭弁論の都度発行している会報も第9号まで発行しました。2014年8月には福井判決の国富の定義を広めるための「国富 T シャツ」販売を開始。9月には避難者の想いを広く世の中に伝

えるため、私たちの訴える内容（訴状）と、これに対する国及び東京電力の回答（答弁書）、そして全国の訴訟の概要等をまとめた冊子『福島原発かながわ訴訟団資料集I』を発行しました。この冊子については、「ふくかな」の多大なる協力により神奈川県選出の議員にも手渡し、一刻も早い現状の打開等の願いをすることができました。また、神奈川県立図書館をはじめとする多くの横浜市内の図書館にも置いていただけることとなりました。

そしてさまざまな活動により首都圏の他の訴訟原告団とのつながりを構築し、協力体制もできつつあります。今後とも当原告団は、訴訟により私たちの日本国民としての地位の回復を求めていく所存です。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### 【お問い合わせ】福島原発かながわ訴訟原告団

〒231-0011 横浜市中区太田町4-55  
横浜馬車道ビル6階 馬車道法律事務所内  
【Fax】045-662-4831  
【ホームページ】<http://110311fkg.jimdo.com/>  
【メール】[kanagawagenkokudan@gmail.com](mailto:kanagawagenkokudan@gmail.com)

### 東日本大震災の日から

#### 弁護士 恵崎 和則（横浜弁護士会所属、京浜協立法律事務所）

私は、弁護士31年目を迎える平成23年元旦の日記に、その年の努力目標として「説明力の増進」と書いた。弁護士は、法律を説明する力をつけなければならないと思ったからである。

同年3月11日、東日本大震災が発生した。私は、スカイツリー完成間近の押上の地下鉄駅で最初の揺れに襲われた。プラットホームの太い柱が、生き物のようにぐらぐらと揺れた。10分後、2回目の揺れで放送が入り地上に避難したが、余震で電線が縄跳びの縄のように揺れていた。交通はマヒし、道路の渋滞は解消しそうになかった。当夜は近くの料亭に特別に泊めてもらったが、余震で何度も目が覚めた。翌朝、銀座線で浅草から新橋に行き、駅前広場の大きな画面で、押し寄せる津波のニュースを初めて見た。大勢の人々がぼうぜんと立ち尽くしていた。月曜になり、私は自宅から自転車で1時間かけて横浜の裁判所に行き、とりあえずの任務を果たした。連日の計画停電で仕事にならなかった。

東京電力福島第一原子力発電所の爆発が起こると事態はさらに悪化し、数十万人の避難者が出た。悔しかった。

やがて横浜弁護士会の有志が福島原発被害者支援弁護団を結成したことを知り、私もすぐに川崎から参加を決めた。若い弁護士たちにも、積極的に参加するよう勧めた。神奈川県では280名近い弁護士が参加している。そして3年が経過し、私はいつの間にか、年齢でも回数でも福島県内の相談会に最も多く足を運んだ弁護士のひとりになっていた。できることは限られているが、弁護士としてできることに粘り強く取り組んでいきたいと思う。





# 交流ひろば

2~3月



避難されている方同士が語り、交流を図り、またふるさとの情報にも触れられるイベント・カフェをご紹介します。 ※問い合わせはそれぞれの主催団体までお願いいたします。

## 🌻 どんぐりの会

参加費  
200円

**第2木曜・第4水曜** 9:30~14:00頃  
2月12日(木)、25日(水)、3月12日(木)、25日(水)

東日本大震災の影響で避難している同士が集まって気兼ねなくおしゃべりしながら、趣味のものづくりを楽しんでいます。

**場所** かながわ県民センター15階  
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

**参加費** 1回200円

■主催・お問い合わせ先: どんぐりの会  
TEL 080-5058-7310(小園) 090-4551-1109(大橋)

## 🌻 横須賀しゃべり場

「よこすか海軍カレーを作って食べよう！」

2月21日(土) 10:00~13:30

避難されている方々のための交流会です。横須賀名物の海軍カレーを作って一緒に食べましょう。エプロン、三角巾をご持参ください。

※事前のお申し込みが必要です。申し込み締め切り: 2月13日(金)。

**場所** 横須賀市立総合福祉会館 6階  
横須賀市本町2-1(京浜急行「汐入」駅より徒歩6分、JR横須賀線「横須賀」駅より徒歩8分)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

**参加費** 無料

■主催・お問い合わせ先: 横須賀災害ボランティアネットワーク  
TEL: 046-821-1303 電話受付時間: 午前9時~午後5時(土日祝日を除く)、E-mail: shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

■共催: 横須賀市、横須賀市社会福祉協議会

## 🌻 神奈川散歩カフェ「早春の鎌倉散策とお茶っこ会」

参加費  
無料

2月28日(土) 9:00集合、13:00頃に建長寺に到着

早春の鎌倉を散策します。北鎌倉駅から円覚寺、東慶寺、浄智寺、明月院と歩き、建長寺に向かいます。建長寺では、お茶っこ会でひと休みしましょう。お弁当、飲みものをご持参ください。

## 🌻 東日本大震災で避難している女性のためのほっとサロン

2月18日(水)、3月18日(水) 10:30~14:30

女性同士の交流の場。気軽にお食事をつくりながら、今のコト、これからのコト、日頃の悩みや情報交換、あなたがあなたらしくいられることを大事にするためのサロンです。

**場所** 川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)2階 第2交流室  
川崎市高津区溝口2-20-1  
(JR南武線「武蔵溝ノ口」北口、東急田園都市線／大井町線「溝の口」東口より徒歩10分)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難している女性ならだれでも

**参加費** 無料

■主催: 川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)  
■協力: 川崎市総務局危機管理室(避難者支援総合窓口)、国際ソロプチミスト川崎、昼食ボランティア

## 🌻 かながわ・あづまっぺお茶っこ会 in 建長寺

参加費  
無料

2月28日(土) 13:00~15:00(予定)

鎌倉の建長寺で場所をお借りして「お茶っこ会」を開催します。詳しくはチラシでご確認ください。

**場所** 建長寺  
鎌倉市山ノ内8(JR横須賀線「北鎌倉」駅より徒歩20分)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

**参加費** 無料

■主催: かながわ避難者と共にあゆむ会  
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 午後1時~5時(日・祝日を除く)

**場所** 北鎌倉駅(JR横須賀線)改札口 集合(定員30名)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

**参加費** 無料(ご飲食代金が発生する場合は各自でご負担ください)

■主催: かながわ避難者と共にあゆむ会  
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 午後1時~5時(日・祝日を除く)  
■協力: NPO法人神奈川県歩け歩け協会

2月 如月 きさらぎ

| 月  | 火  | 水    | 木    | 金  | 土    | 日  |
|----|----|------|------|----|------|----|
|    |    |      |      |    |      | 1  |
| 2  | 3  | 4    | 5    | 6  | 7    | 8  |
| 9  | 10 | 11   | 12 ☺ | 13 | 14   | 15 |
| 16 | 17 | 18 ☹ | 19   | 20 | 21 ☺ | 22 |
| 23 | 24 | 25 ☺ | 26   | 27 | 28 ☹ |    |

3月 弥生 やよい

| 月  | 火  | 水    | 木    | 金  | 土    | 日    |
|----|----|------|------|----|------|------|
|    |    |      |      |    |      | 1    |
| 2  | 3  | 4    | 5    | 6  | 7 ☹  | 8 ☹  |
| 9  | 10 | 11   | 12 ☺ | 13 | 14   | 15 ☺ |
| 16 | 17 | 18 ☹ | 19 ☺ | 20 | 21   | 22   |
| 23 | 24 | 25 ☺ | 26   | 27 | 28 ☹ | 29   |
| 30 | 31 |      |      |    |      |      |

🌻 どんぐりの会 🌻 東日本大震災で避難している女性のためのほっとサロン 🌻 横須賀しゃべり場 🌻 かながわ・あづまっぺお茶っこ会 in 建長寺  
🌻 神奈川散歩カフェ 🌻 ふるさと作品展2015春 🌻 第6回ふるさとコミュニティinかながわ

※日時等は変更される場合があります。お問い合わせはそれぞれの主催団体までお願いいたします。

## 🌻 ふるさと作品展2015春

参加費  
入場料  
無料

3月7日(土)、8日(日) 10:00~16:00

恒例の「ふるさと作品展」を市民活動フェア2015の展示企画として開催し、避難されている方々による作品展示とともに物販ブースを設けます。会場にはどなたでもご来場いただけますので、お誘い合わせのうえお越しください。

**場所** かながわ県民センター 2階ホール内  
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
(横浜駅西口/きた西口より徒歩5分)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

**参加費・入場料** 無料

■主催: かながわ避難者と共にあゆむ会  
TEL 045-312-1121(内線4142)  
電話受付時間: 午後1時~5時(日・祝日を除く)

## 🌻 神奈川散歩カフェ

参加費  
無料

「クノール食品川崎事業所見学と多摩川散策」

3月19日(木) 午前9時集合、午後2時頃解散

川崎市高津区にあるクノール食品川崎事業所を訪れ、加工食品の見学と試食を楽しみます。工場見学のあとは多摩川を散策し、武蔵小杉駅で解散します。お弁当、飲みものをご持参ください。工場見学者の人数が制限されているため、参加希望者は事前にハガキでお申し込みください。定員になり次第締め切ります。

**場所** 武蔵新城駅(JR南部線)改札口 集合(定員30名)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

**参加費** 無料(ご飲食代金が発生する場合は各自でご負担ください)

**お申し込み** 〒231-0011 横浜市中区太田町4-47  
コーワ太田ビル7F「かながわ避難者と共にあゆむ会」宛

■主催: かながわ避難者と共にあゆむ会  
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 午後1時~5時(日・祝日を除く)  
■協力: NPO法人神奈川県歩け歩け協会

## 🌻 第6回ふるさとコミュニティ in かながわ

参加費  
無料

3月28日(土) 10:00~15:30

さまざまな催しを楽しみながら、ゆっくりと語り交流を深めていただくイベントです。今回は福島県の大熊町より熊川稚児鹿舞をお招きします。また、南相馬市ご出身の歌手による民謡の披露もあります。事前の参加申し込みが必要です。詳しくはチラシでご確認ください。



**場所** 波止場会館  
横浜市中区海岸通1-1  
(みなとみらい線「日本大通り」駅より徒歩5分)

**参加対象** 東日本大震災の影響で避難されている方

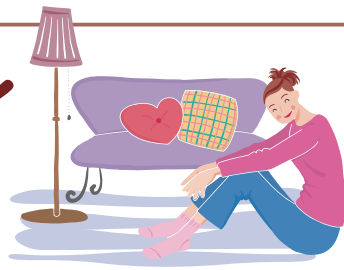
**参加費** 無料

■主催: かながわ避難者と共にあゆむ会  
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 午後1時~5時(日・祝日を除く)



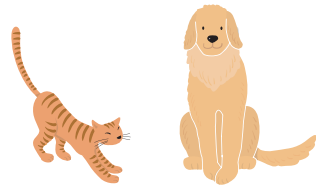
# 第6回 ふるさとコミュニティ in かながわ

## 出演者紹介



かながわ避難者と共にあゆむ会が主催する「第6回ふるさとコミュニティinかながわ」(2015年3月28日(土))の出演者のうち、2組をご紹介します。

その他の催しについてはチラシをご参照ください。



## 熊川稚児鹿舞(福島県双葉郡大熊町)

熊川稚児鹿舞(くまがわちごしまい)は、大熊町の熊川地区に伝わる郷土芸能であり、町の無形民俗文化財に指定されています。踊り手は原則小中学生に限られ、毎年8月26日に諏訪神社に奉納されてきました。

先の東日本大震災の津波で、神社は一部を残し流失。衣装や楽器も失いました。鹿舞保存会の会員も、福島県内外に散り散りの避難生活となりましたが、福島県いわき市に避難した保存会会長の宮本明さんは2012年8月に鹿舞の再興を決意しました。会津若松市といわき市に避難する小学生の兄弟2組が踊り手を引き受けて2013年3月から練習を始め、そして2014年7月、会津若松市内の仮設住宅で4年ぶりの上演を実現できました。



今回、あゆむ会の依頼に応じて、「県外に避難している皆さんの家内安全を祈ります」と快く承諾していただきました。当日の鹿舞をぜひお楽しみに!

## 神奈川県に避難されている皆さまへ 藤沢 しげの(南相馬市出身・横浜市港北区在住)

皆さま、震災からはや4年が経とうとしていますが元気で暮らしてでしょうか? 私は、南相馬から横浜に出てきて今年で56年目を迎えようとしています。

我がふるさとの福島から、多くの方が慣れない避難生活をお暮らしであることに心を痛めています。

今回は、かながわ避難者と共にあゆむ会から、避難されている方々へ励ましの歌を歌ってほしい、とたっのお願いがあり、せんえつながら「相馬流山」などをご披露させていただきます。ひと時ですが、懐かしいふるさとの歌を楽しんでいただけるよう、心をこめて歌います

皆さまが一日も早く、元気な毎日を取り戻せるよう願っております。



## 活動報告

## 広域避難者支援ミーティング in かながわ (2014年11月30日)

かながわ避難者と共にあゆむ会は、東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)にご協力いただき、2014年11月30日に「広域避難者支援ミーティング in かながわ」を開催しました。東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により避難されている方々を支援する団体や、避難されている方々による自助グループに登壇をお願いし、会場内は避難者支援に関心を持ってお集まりいただいた方々でほぼ満席になり、熱気のあるミーティングとなりました。ミーティングへのご協力、ご参加、誠にありがとうございました。

第1部では、福島県の避難者支援課のご担当者と、東京および埼玉で活動されている団体にご登壇いただき、支援の内容や事例を発表していただきました。第2部では、神奈川県の支援団体や、避難当事者による自助グループにご登壇いただき、具体的な



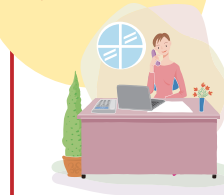
支援の取り組みや支援の手法等の情報を共有していただきました。神奈川県内には主要な支援団体が集まる会議や協議会がいくつかありますが、この広域避難者支援ミーティングでは、地域密着型の活動をされているグループも含め多くの団体に顔

合わせをしていただきたいという目的もあり、各団体には短い持ち時間の中で活動紹介をしていただきました。それぞれ地域や対象となる方々が異なっている、共通する課題があることも分かりました。

参加者アンケートでは、回答者のほとんどに「今後も継続開催してほしい」とご回答いただきました。このミーティングのための準備会や勉強会も含め、引き続き多くの方々に協力とご参加をお願い申し上げます。



## お聞かせください



「ともにあゆむ」は隔月発行、次号は3月末を予定しています。今後も内容をますます充実させていきたいと考えています。そのために、みなさまのお力添えをいただけませんか。次号は3月末、平成26年度最後の発行になります。4月からは構成を新たにして、お役に立つ情報を中心にお届けしたいと考えています。引き続き、ご意見やご要望をぜひお聞かせください。

## 写真や絵手紙、ちぎり絵などを、掲載させていただきますか?

データをメールでお送りいただくか、現物をご郵送ください。作品の返却を希望される方は、その旨を明記してください。  
※掲載する作品は、ご本人様の作品に限らせていただきます。

〒221-0835  
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
かながわ県民活動サポートセンター  
レターケース339

かながわ避難者と共にあゆむ会  
「ともにあゆむ」係



## 今月の表紙

今月の表紙は、どんぐりの会の猪狩良子さんの新聞ちぎり絵です。「福は内、鬼は外!」と元気に声を出して福を招きましょう。

